

⑥ 中学校・高等学校 国語 解答例

1点×6



(一)		④	①
		質素	散策
		⑤	②
		斬新	癖
		⑥	③
		塗	拙
		り	い

「〜できる」という意味を含んだ動詞を可能動詞という。可能動詞は、五段活用 of 動詞を基にした、下一段活用の動詞である。ただし、命令形はない。

6点		5点		6点		6点		5点		6点	
(七)		(六)		(五)		(四)		(三)		(二)	
情	ら	あ	関	井	で	に	感	伝	い	ま	言
が	れ	ま	係	出	は	伝	動	わ	る	っ	葉
あ	て	り	に	の	感	え	は	ら	が	し	は
る	い	に	あ	玉	動	ら	そ	な	、	ろ	誰
と	た	庶	っ	川	が	れ	の	い	「	な	に
し	柿	民	た	、	通	る	場	の	白	牡	と
た	に	的	言	山	じ	の	で	で	」	丹	っ
こ	っ	で	葉	吹	に	だ	相	は	と	は	て
と	い	詠	。	と	く	が	手	な	い	「	も
。	て	む		い	く	、	に	い	う	白	共
	、	に		っ	な	そ	直	か	だ	牡	通
	奈	あ		た	る	の	接	と	け	丹	の
	良	た		「	か	場	い	い	で	」	意
	で	い		蛙	ら	を	う	う	は	と	味
	み	し		」	。	離	と	こ	牡	名	を
	る	な		と		れ	じ	と	丹	付	も
	柿	い		強		る	ゆ	。	の	け	っ
	に	と		い		と	う		白	ら	て
	は	考		連		言	ぶ		さ	れ	い
	風	え		想		葉	ん		が	て	て

※(三)・(四)は、波線部の内容がなければ誤答
 ※(二)・(五)・(六)・(七)は、傍線部が二点、二重傍線部が三点

校種
中・高・特中・特高
受験番号

⑥ 中学校・高等学校 国語 解答例



1点×2	1点×2	1点×2	2点	3点	3点	6点
(一)	(二)	(三)	(四)	(五)	(六)	(七)
あ	い	う	「葵」と「逢う日」	(例) 維盛の美しい姿に惹かれ、心の中で恋人として彼と逢う日を期待して願っているということ。	(例) 維盛の、二藍の色の濃い直衣、指貫、若楓の衣、その季節にあつた単衣などを身につけて警固する姿が、色がとりわけ鮮やかに見えて、絵物語のように美しい様子。	(例) 維盛の美しい姿はよそから見るだけにして逢おうとまでは願うまいと答えた作者に対して、中將の「突き放して考えるのは深く思っているからで、心は潔白なのか」という返しに、確かに言われてみればそのとおりだと思えたから。
うづき	意志	すぐ				
お	え	か				
なおし・のうし	尊敬	どんなに				

※波線部が一点、傍線部が二点

校種

中・高・特中・特高

受験番号

⑥ 中学校・高等学校 国語 解答例



1点×3

1点×2

3点

6点

6点

(一)	a か	b こたえて	c しかれども・しかも・しかるに
(二)	読み ひやくせい	意味 人民	
(三)	仁義		
(四)	<p>(例) 天下を従えるには、国民を愛し、人々の努力を大切にし、賢者の意見をよく聞いて従い、仁義の徳に身を任せて世の中の利益になることを行う以外にないのである。</p>		
(五)	<p>(例) 莊公が晏子の言葉を聞き入れずに横暴に振る舞って滅ぼされてしまった愚かな人物として描かれているのに対し、晏子は主君の歛心を買おうとせず、俸禄にも未練を持たず、自分の信念を貫き通す清廉潔白な人物として描かれている。</p>		

※波線部が一点、二重傍線部三点

(全五枚中の四枚目)

校種	中・高・特中・特高	受験番号	
----	-----------	------	--

⑥ 中学校・高等学校 国語 解答例

四

(中学校受験者のみ解答すること)

	1点×4	(一)		2点×2	(二)	3点×2	(三)	6点	(四)
		a 意味	b 働き						
							(例) 関連のある学習内容や言語活動を取り上げた単元の設定を工夫する。		(例) 生徒が身近に感じられる文章(例えば、同年代の主人公の物語など)を取り上げ、文章に表れている心情やその変化等が分かるよう、行動の描写や会話文に含まれている気持ちがよく伝わってくる語句等に気付かせたり、心情の移り変わりが分かる文章の中のキーワードを示したり、心情の変化を図や矢印などで視覚的に分かるように示してから言葉で表現させたりするなどの配慮をする。

※傍線部の内容のうち、二つが書けていること。

※(一)のa、cは順不同
※傍線部は三点。

(全五枚中の五枚目)

校種 中・高・特中・特高 受験番号

⑥ 中学校・高等学校 国語 解答例

五

(高等学校受験者のみ解答すること)

2点×3

(一)	a	b	c	イ
	ウ	カ		

8点

(二)	<p>(例) 言葉が、継承すべき文化遺産であることを認識するとともに、言語文化に対する興味・関心を広げ、自らが継承、発展させていく担い手としての自覚をもつこと</p>
-----	---

6点

(三)	<p>(例) 『宇治拾遺物語』の「絵仏師良秀」と芥川龍之介の『地獄変』を読み比べ、内容や良秀の描かれ方の異同について論じたり批評したりする学習活動。</p>
-----	--

※傍線部が2点、二重傍線部が3点